

第４７回友和少年野球連盟卒業記念大会
実施要領

１．予選リーグ

参加６チームを２つのリーグに分けて、総当たりの予選リーグを行い、予選リーグの順位で決勝トーナメントの組合せを決定する。

○Ａリーグ

	前原 サンライズ	みゆき台・田喜 野井・さざん か・ノア連合	ホワイトビー ストロング	勝敗	順位
前原 サンライズ	—				
みゆき台・田喜 野井・さざん か・ノア連合		—			
ホワイトビー ストロング			—		

○Ｂリーグ

	薬田台 リトルスター	ツイン ドルフィンズ	西高根 ラッキーズ	勝敗	順位
薬田台 リトルスター	—				
ツイン ドルフィンズ		—			
西高根 ラッキーズ			—		

2. 決勝トーナメント

6 チームで決勝トーナメントを実施し、優勝から 3 位までを決定する。
組合せは以下のとおりとする。

	1 回戦	準決勝	決勝
A リーグ 1 位	⇒	2/4 9:30 高瀬 A 面	2/4 13:00 高瀬 A 面
A リーグ 3 位	1/21, 27, 28 (予備日 2/3)		
B リーグ 2 位			
A リーグ 2 位	1/21, 27, 28 (予備日 2/3)	2/4 9:30 高瀬 B 面	
B リーグ 3 位			
B リーグ 1 位	⇒		

※ 3 位決定戦を実施する (2/4 12:30 高瀬 B 面)

3. 大会共通の規則

- ・指導者のベンチ入りは代表、監督 1 名、コーチ 5 名以内とし、選手と同一のユニフォームを着用すること。但し代表及びコーチの内 3 名以内は私服可とする。
(30, 29, 28 は背番号をつけること)
- ・ベンチ入り選手は原則としてユニフォームを着用すること。
- ・ベンチ入り選手は原則として背番号をつけること。番号は他の選手と重複しないこと。
- ・指導者及び選手の金属スパイクの使用は認めない。
- ・試合前のシートノックは 5 分間とし、後攻から行う。
- ・投手の投球練習は初回 5 球、2 回以降は 3 球とする。なお、投手交代時は 5 球とする。
- ・投手の変化球投球は認めない。
- ・投手の投球回数、投球数には特に制限は設けず、監督一任とする。
- ・打者、次打者、ランナー、ランナーコーチャーはヘルメットを着用すること。
- ・捕手はマスク、プロテクター、レガースを必ず着用すること。また、捕手用のヘルメット着用が望ましい。
- ・試合中は審判員の判定に従うこと。規則上の疑問点については監督のみ審判員に確認することができる。
- ・試合中の言動は少年らしく活発に、攻守の交代は駆け足ですること。

- ・応援は相手チームを傷つけたり、自チームの品位を落とすことなく良識をもって行なうこと。また、メガホンの使用は監督のみとする。
- ・大会の雰囲気になじめない場合は、審判員はそのチームに注意し、なおかつ改まらない場合は、そのチームの試合を中止することもある。
- ・試合運営に関することで問題が生じた場合は、連盟事務局及び審判部で協議の上決定する。

4. 予選リーグの規則

- ・試合は6回戦・1時間30分以内とし、時間を過ぎてから新しい回には入らない。
- ・4回以降10点以上差がついた場合はコールドゲームとする。
- ・試合の成立は4回終了時点とする。4回終了する前に雨天等で試合続行が不可能となった場合は、原則として再試合とする。
- ・6回を終了または規定の時間を過ぎて同点の場合は引き分けとする。
- ・リーグ戦の順位は、以下のとおりの優先順位（㊦で決まらない場合は㊥、㊥で決まらない場合は㊧、以下同じ）で決定する。
 - ㊦勝ち数が多いチーム（1勝1敗と2分 ⇒ 1勝1敗のほうが上位）
 - ㊥負け数が少ないチーム（1勝1敗と1勝1分 ⇒ 1勝1分のほうが上位）
 - ㊧直接対決で勝利したチームが上位
 - ㊨得失点差の多いチームが上位
 - ㊩抽選により上位チームを決定
- ・リーグ戦の審判は、当該試合チームの出し合いとする。
- ・リーグ戦は、原則として1月20日までを期限として実施する。

5. 決勝トーナメントの規則

- ・試合は6回戦・1時間30分以内とし、時間を過ぎてから新しい回には入らない。
- ・4回以降10点以上差がついた場合はコールドゲームとする。
- ・試合の成立は4回終了時点とする。4回終了する前に雨天等で試合続行が不可能となった場合は事務局の指示に従う。
- ・6回を終了または規定の時間を過ぎて同点の場合は、特別延長戦を実施する。特別延長戦は、先頭打者の前の打者から順に3人を1塁、2塁、3塁に置き1アウト満塁からスタートする。
- ・1回目の特別延長で決着がつかない場合は、決着がつくまで繰り返し実施する。
- ・決勝トーナメントの審判は、当該試合チームの出し合いとするが、準決勝、決勝、3位決定戦の審判は、別途事務局が指示する場合もある。

6. 表彰

チーム表彰は、決勝トーナメントの優勝・準優勝・3位のチームに行う。

個人表彰は、最優秀選手賞（優勝チーム1名）・優秀選手賞（準優勝チーム1名）・敢闘選手賞（3位チーム1名）、友和賞（各チーム1名）とする。

7. その他

- ・出場チーム責任者は各参加選手の父兄の同意を得ること。
- ・大会試合中、万一の負傷などの事故に関して応急措置を施すが、以後の治療については主催者はその責を負わない。
- ・各チームは事前に「スポーツ・レクリエーション参加者障害保険」等に参加の上、参加のこと。
- ・開会式、閉会式は、原則として全チーム参加とし、日時や場所は以下のとおりとする。

【開会式】 日 時：令和6年1月14日（日）午前9時から
場 所：薬円台公園（マンション側）
選手宣誓：前原サンライズ

【閉会式】 日 時：令和6年2月4日（日）午後3時頃から
場 所：高瀬A面

以上